

# 損傷澱粉測定装置 SDmatic 2

CHOPIN  
TECHNOLOGIES

a KPM brand

小麦粉をはじめとする各種製粉製品の損傷澱粉測定の完全自動化を実現

簡単

熟練オペレーター不要  
誰でも操作可能

完全自動化

酵素フリー

迅速

10分以内で測定完了

正確

優れた再現性と反復性



## 測定原理

SDmatic 2は酵素を使用しないアンペロメトリック法に基づき、希釈した小麦粉サンプルのヨウ素澱粉反応を電気化学的に測定することで損傷澱粉の含有量を測定します。

## 適応例

- ミルの調整：ロール機の状態確認や調整
- パン生地生産性の向上（ミキシング時の吸水率を管理可能）
- パン生地のべたつき調整
- パン製品の容量や焼き色、保存期間の最適化



操作性の良いインターフェース

## SDmatic 2 を使用するメリット

- SDmatic 2は酵素法と比較して短時間での測定が可能
- 操作も完全自動化されて熟練のオペレーターは不要
- 測定は小麦粉サンプル約1gで実施
- 検量線のカスタマイズが可能
- メンテナンスが簡単
- TeamViewerによるリモート接続が可能



新仕様の金属製スプーン

## SDmatic 2の機能：操作の簡便性について

### 操作

- カラータッチスクリーンと操作性の良いソフトウェア
- 初心者のためのラーニングモード
- 測定完了までのカウントダウンタイマー

### カスタマイズ

- レンジを広く設定可能
- 測定結果の単位を選択可能
- 検量線を開発および装置に設定可能

### トレーサビリティ

- 分析結果の自動記録
- 検査名入力時にバーコードスキャナーを使用可能

### 接続

- USBポート：4個、ネットワークポート：1個
- USBもしくはLIMSで結果の出力が可能



カウントダウンタイマー

## 測定フロー

### アンペロメトリック法 AACC 76-33.01

1. 試薬溶液を準備する
2. 溶液を反応ボウルに置く
3. スプーンに1gの小麦粉を量る
4. スプーンをSDmatic 2に挿入する
5. テストを設定し、測定開始ボタンを押す
6. 約5分で結果が得られる



①



②



③



④

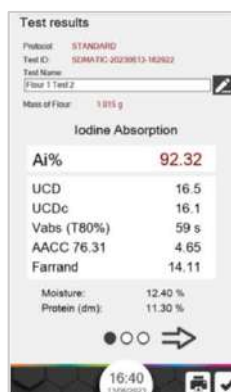


⑤

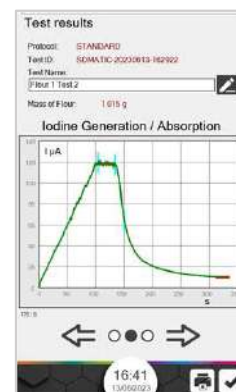


⑥

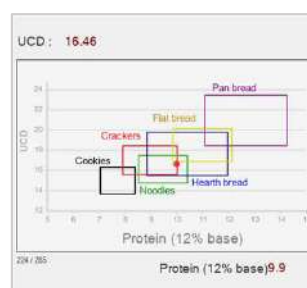
## 測定結果表示



各単位での測定結果を表示



ヨウ素吸収曲線を確認可能



グラフ UCD = f(タンパク質)

※自社の小麦粉が、世界の製品クラスと比較してどの位置にあるかを可視化

## ▼仕様

サイズ (mm)	L450 x D370 x H265
重量 (kg)	8 kg
電圧	110 / 230 V, 50 / 60 Hz
電気容量	88 W (スタンバイ1.3 W)

## ▼試薬

水	: 120 ml
クエン酸	: 1.5 g
ヨウ化カリウム	: 3 g
チオ硫酸ナトリウム	: 0.1 mol / l 1滴

## ▼標準規格

NF EN ISO 17715:2015
ICC 172
AACC 76-33.01
...その他 (China, UK...)

## 株式会社 パーカー コーポレーション

機械本部 機械一課  
 本社 〒103-8588 東京都中央区日本橋人形町2-22-1  
 Tel. (03) 5644-0610 Fax. (03) 5644-0611  
 大阪支店 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町11-41-1  
 (パーカー江坂ビル3F)  
 Tel. (06) 6310-7346 Fax. (06) 6310-7343  
 E-mail: [machinery@parkercorp.co.jp](mailto:machinery@parkercorp.co.jp)  
 Web site: <http://www.parkercorp.co.jp>